

んですな、私んとこ部長、来なさい教えてやるから、弁当持って。ほんとに、というのは、例えば、市が発注する同じ業務、例えばごみの問題にしましょうか。教育委員会もいろいろな施設持ってる、そこも発注してるはず、いろいろの部分が発注しとるけど、その部署、部署で、もしやっとなるようにあれば、そういうのは積算業務はどっか専門職を置くなり、マニュアルをしっかりとつくって、そしてチェック機関を持ってもらわんと、非常に前年度と後年度の落差がびっくりするような数字になってるんです。そのチェックもしてない。だからその辺について、また何かの折にこれは提言しますから、文句ばかり言うんじゃないです、私。しっかりといい姿をつくりましょう。さあさあ、2問目、時間もらえますか。

実はこれ2問目については、また状況によっては、またの機会をちょうだいしましょう。きょうの質問はしっかりと市民が喜ぶ結果をお待ちしてますんで、状況は議会中出てきておりますんで、こういう状況になりつつありますとかそういうのはぜひ知らせてください。難しいようだったら、私計算機持って加勢に行きますから。長議員も経験者ですから、やれんはずない。終わり。ありがとうございました。

○議長（作元 義文君） これで、渕上清君の質問を終わりました。

○議長（作元 義文君） 暫時休憩します。開会を2時5分から行います。

午後1時51分休憩

午後2時03分再開

○議長（作元 義文君） 再開します。

一般質問最後の質問者になります。3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） こんにちは、入江有紀と申します。一般質問で、一番最後の一般質問になりましたが、お昼御飯を食べてみんな眠いかもわかりませんが、50分間我慢してください。

一般質問に入ります前に、一言市長に言わせていただきたいと思います。

市長は12月6日の本会議でやめるということを言われたんですが、私たち議会にも市民にも、私は12月の議会でけじめをつけてくださいと言ってたはずですけど、そのことも全然けじめをつけないまま現在に至ってますが、どういうお考えをしてあるのでしょうか。男が一度言われたこと、それも対馬のトップなんでしょ、あなたは。それを全然けじめをつけないままだらだらきであるようにありますが、ほんとに残念に思います。

そして、巖原市民から一つひどいお小言を私は言われました。どういうことかと言うと、お前たちばか議員が21人そろって、異議なし議員異議なし議員ばかりいっぱいおって、何の反対

もしきらん花火大会のあのざまは何か。何のためにあれを反対せんか。お前たちは、給料目当てにしてるんだろうが。何も市民のためには役に立ちよらんをやからやめろっていうお電話でした。市長のおかげで、市長がずるずるするのおかげで私たちまでこんなこと言われてます。

市民から選ばれた私たちは議員ですが、ばか議員21人ちゅう話が出てますので、ほんとに私は残念だと思います。市長はどんなふうにけじめをつけていただきますか、このことに対しては、以上です。

一般質問に入らせていただきます。通告をしておりました上対馬病院外科、産婦人科の件についてお尋ねします。

現在、上対馬病院には、外科、産婦人科がないのですが、このことについて市長は今後どのような方針をお持ちでしょうか、お尋ねいたします。

予算書を見て見ますと、安心出産支援委託事業で宿泊費、交通費、文書料を計上してありますが、上対馬病院には、外科も産婦人科も再開する見込みがないからこの予算を計上されたんでしょうか、お答えください。

市民の命と生活を守ってやるのが執行権を持たれた市長のお仕事だと私は思いますが、市長はどんなに思われますか。

第2に、対馬いづはら病院の跡地利用について、お尋ねいたします。

巖原市民の一番注目している跡地利用については、私は6月の議会、9月の議会、12月の議会と3回にわたって、今回で4回目になるのですが、3回とも全然進展がなく、12月の議会からまた3カ月がたちました。その後の経過をお尋ねいたします。

6月、9月、12月のだらだらした御答弁は、必要ありませんので、はっきりした御答弁をお願いします。

それと一つ、私は一番前で市長の御答弁を見てるんですけど、背広のボタンを答弁するときこの3日間、背広のボタンをしなかつたりしたりしてから答弁してありますが、私たち議会をなめてあるんじゃないですか。きちんとしてください。お願いします。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 1点目の私たちが市民から誹謗中傷されるのは、私のせいだというふうな言い方をされるわけですけども、私だけの決してせいではないというふうに思います。それぞれ、私もあなたも今やってることをしっかり考えていかななくてはいけないんじゃないかというふうに質問を聞いて思った次第です。

それと、12月の問題ですが、これにつきましてはこの3月議会の冒頭での施政方針の説明の中で私、対馬再生の責任は全うする覚悟ということで表明をさせていただきましたので、申しわけございません、入江議員の意に沿うようなことではありませんけども、しっかりと取り組んで

いきたいと思っております。

では、通告に従って1点目の上対馬病院の外科、産婦人科の問題でございます。この問題につきましてはたびたび御質問があるわけですが、病院企業団という一つのくくりの中で、経営方針が出されてされてるということです。そしてそういう事後全てが処理にこちらは今なってるわけですが、そういう状況に追い込まれてる、私ども対馬市全体の状況だと思っております。

上の問題につきましても、何度となく全く別組織であります、病院企業団のほうにもこの問題については申し入れをしゃってきております。そして、安心・安全の出産の予算措置でございますけれども、今、上に産科、外科がないことを逆に容認してしまうのではないかというふうな向きの御質問だと思いますが、決してないことを容認してるわけではなくて、現時点において病院企業団のほうに産婦人科、済いません、特にあそこの問題は外科の問題ですけども、外科が配置ができないという中で現在に至っておりますので、その間について私ども行政としてやれることは何なのかということで、この問題にはこういう予算措置をさせていただいてるところであります。

上のこの問題について、手をこまねいてるわけではなく、私どもとしまして、もし外科医が見つからなくて産婦人科の配置ができないということになった場合も想定しながら、私たちは救急ヘリの、今委員会等を立ち上げ、どのようにすればこの島内、当然北部を含め、救急搬送ができるような状況をつくれればよいかということで、皆さんで話し合いを、今してもらっております。

この問題については、先ごろ東京のほうでありました自民党の離島振興委員会のほうでも、話、議題に上っております。言葉としてはメディカルウイングという言葉でありましたけれども、要は救急搬送ヘリが、ドクターヘリ等の導入というものを、この離島においてできないかということ、国のほうも検討し始めたのかなというふうな、その報告を見た瞬間に感じたところあります。

どうかして島内これだけ集落が点在しておりますので、その距離、時間というものを短縮する方法とかを考えていく一貫として、先ほどから質問のある外科、産婦人科についても最悪の場合に対応していくようなつもりを持たないといけないのかなと思っております。

また、私個人としましては、今助産院の研究も自分自身してるところであります。どうかして助産院等がこちらで開設できるならば、上のほうで安心して出産ができるという体制もつくれないのかというふうな思いで、自分自身の中ではずっと研究をしております。決して今の状況をよしとしてるわけではありませんので、その点については十分に御理解をいただきたいと思っております。

いづはら病院の跡地利用の問題がございました。これについてはその後も、12月18日に一つの議会の結論を出していただき、その後も議長とも動き、跡地利用ができる環境づくりというのを片やしながら、そして来ていただける法人との話し合い、どういうふうな病院形態、介護施

設形態がいいのかということについても話し合いを今後もしていこうということで、今ある法人との話は進めているところでございます。

以上です。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） さっき言われたことなんですけど、失礼じゃないですか、あなたも問題があると言われたのは何ですか、それは。あなたが、やめると言ったから、市民もやめると思ってたんですよ。それをやめんから、お前たち21人のばか議員は何でやめさせないんだと。（発言する者あり）

○議長（作元 義文君） そのばか議員はやめてください。皆さんがばか議員というのは。

○議員（3番 入江 有紀君） 私は、言われました。それと、上対馬の外科、産婦人科の件ですけど、これは経費を一応とってありますので、再開の予定はないんですか。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） この病院についての執行権は私には全くありませんから、私がこの次なる方向性というものをここで申し述べることは、まずもって不可能だと思いますが、現時点において外科医が公募をかけても今手を挙げて来ていただける方がいないという報告は受けておりません。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） あなたが選挙に出られるときに、これまいたんですけどね、これには何て書いてあると思います。「上対馬病院で診てもらえるけん、上でも安心して暮らせるばい、子供も孫も安心して健康で暮らせるばい」言ってるんです。これで、今の現状で安心して暮らせてますか。あなたの責任じゃないですか、これは。市長になるときにこういううたい文句を出して。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 入江議員、先ほどから申しますように、その病院の経営っていうのは、病院企業団がされてるということは重々わかってあるかと思いますが、それで、私の責任だというふうに転嫁されるのもいかなもんかと思いますが、私はあと、先ほど言いましたように、企業団のほうが先に動いて、経営者が動いた後、処理を今ずっとしてる状況でございます。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） あのですね、あなたが市長になられるときにこういうビラをまいたんです。そしたら病院企業団がそれを決めるようにあれば、あなたがこんなことを言ってまく必要ないじゃないですか、ビラを。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 上対馬病院は、少なくともここで廃止になってるわけではないじゃないですか。

○議員（3番 入江 有紀君） わかってますよ、そのくらい。

○市長（財部 能成君） それは主観的な見方じゃないんですか。

○議員（3番 入江 有紀君） 外科、産婦人科がないじゃないですか。

○市長（財部 能成君） いや、それは、どうして私の責任になるのですか。それはおかしいんじゃないですか。だから、なくなった後の処理として、どのようにしていけばよいかということを行行政側にぶつけてこられるから、対処をしてるんでは、だと私は思っております。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 違うじゃないですか、対馬島民の命を守るのがあなたの責任でしょ、それにお産が、陣痛が来てから2時間もの間、幾ら交通費を出してもらったり宿泊費を出してもらったところで、女性の身になってくださいよ。そしたら早急に努力をして、病院企業団もかけ合って、外科と産婦人科を置いてもらうようお願いしてくれたらどうなんですか。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） この問題については、病院企業団のほうとも私自身も何度となく、当然のことながらお願いはしております。そして病院企業団議会の中でも、皆さん方も十何名の議員さんも、それぞれの地域の医療を守るために病院企業団執行者側に理事者側に話はされてる。みんながそれぞれ手を尽くしてるという状況の中で今こういうことが起こる、だから私どもはいたし方ないけども要望もする。

しかし今市民が困ってある状況を考え、今の安心、安全の出産の事業を組み立てていく、そして今のどうすればいいかということでみんなでメディカルウイングの話も組み立てていこうじゃないか、助産院のことも考えていかんと上の人たちが大変だということで、みんなで今知恵を出してるところじゃないですか。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 私も、病院企業団まで行ってきてから、いろいろ事情聞いてきました。でも、市長がそのことに対しては、全然動いてありませんでした。（「は」と呼ぶ者あり）はじゃないですよ。そうじゃないですか。どういうふうにして何で先生方が引き上げられたかわかりますか。いづはら病院に集約された理由はわかってありますか。上対馬病院の先生を婦人科もいづはら病院に集約されたんです。集約された理由を言ってください。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 私が当時、いづはら病院のほうからの事務長さんと、病院長さんですか、それと上の病院長さんもいらっしゃったと思いますが、話があったのは、外科の先生が向こうで

専門医の資格を取る必要があるから、だからどうしても次なる向こうに移っていくという選択をされたことによって、外科医を回すことができなくなったために、産婦人科の人が外科とタイアップしないと出産は無理だということで、産婦人科の方が出て行かれた、だから私どもは、産婦人科の先生の滞在、滞在じゃないですね、対策費として、それ相応の予算も当時間も予定をして私どもは用意もしてる、二千数百万だったと思いますが、用意してる。そういう中、外科医の人の都合かもしれません、それによって産科がなくなっていくというふうなことに至ったというふうに私は理解してます。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 今言われたことは、真っ赤なうそです。そうじゃないですよ。私は、全部調べてきたんです。質問する限りは調べんといかんと思って全部調べてきました。これは、何でもかというと教えてあげますので。自治医大の先生方がほとんど対馬に来てあるんです。それで、何でもいつはら病院に集約したかということ、私が聞いた理由は、症例が少ないんです。上対馬病院は、お産の症例も。それで勉強にならない、勉強にならないから上対馬病院には行きませんというお返事なんです。先生にも会ってきました、私は。だから言われていることはそうじゃないじゃないですか。いつはら病院に全員を集約してるんです。婦人科の先生も、外科の先生も。当たり前のことを言ってくださいよ。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） そうしますと、私はいつはら病院の方々から間違った情報をすり込まれてるという発言でございますか。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 私は、病院企業団にも行ってきて、ちゃんと聞いてきたんです。どういふことでこういふことになったんですかということも全部聞いてきました。そしたら、ほとんど対馬に行く先生は自治医大の先生だと。自治医大から出た先生だから、上対馬にあったところで外科の症例も婦人科の症例も少ないと、勉強にならないからほとんど行かないと言われる。それで、いつはら病院に集約をしましたということ言ってあるんです。全然言われること違うじゃないですか。そして、こんなふうな状態で、20件、今、上対馬ではお産が20件らしいんですけど、20件にしても上対馬の市民の命を守るなら、どうにかしてお願いして、置いてやってください。産婦人科、陣痛が来て巖原まで行くのは大変です。宿泊費とか出してあるけど家族はどうするんですか。家族全部の宿泊費も出るんですか、あれは。お答えください。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 制度上は2名ということで、区切らせていただいているところであります。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 2名ぐらいの出してもらったところで、本人も入れて2名ですよ。そして陣痛が起こって2時間で車で揺られて、女の立場になってください。もうちょっと頑張って、幾ら20名しかおらん症例でも、どうにかして産婦人科の先生と外科の先生を置くように上対馬に、努力をしてください。

自分のことばっかしですよ、市長がされてることはもう。（発言する者あり）私はそう思います。そして、チラシには上対馬のほうでも子供も、このチラシですけど、「上対馬のほうでも子供も孫も安心して暮らせるばい、上対馬では見てもらえるけん、上でも安心して暮らせるばい」いかにもこれにはもう安心できるようなことを書いて、まかれたじゃないですか。それを信用して選挙みんな入れたんです。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 先ほどから私が以前出したチラシをたくさん使っていただいておりますが、（「そうです」と呼ぶ者あり）今、私思い出しましたが、このチラシを出す前に入江さんの発行責任者で相当数のチラシを出していただきました。キャンペーンをすごいキャンペーンを打たれたと私は思ってます。それに、この1枚、2枚を出した、やっとそういう感じで出させていただいたところですよ。

あなた方が出したチラシは、対馬の医療を崩壊させてしまうと私は思ったから、このチラシを出して崩壊させないようにしていきましょうということを、その当時は出させていただいた次第でございます。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 何をあなたは言ってるんですか。これは、あなたが選挙に出るために当選するために出されたチラシじゃないですか。うそばっかつかれてるじゃないですか、これは。（発言する者あり）これは全部、ほんとのことですか。読み上げて見ましようか、今から。いいですか、うそばっかし書いてあるんです。「上対馬病院の病院存続は上の市民の生活を守る上で、優先事項と考えております」全然優先してないじゃないですか。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） だからいろんな手を打ってるじゃないですかという、しかしこちらでままならんこともあるし、しかし医者確保するための金も二千数百万円の金は、うちは常に用意をしてると。だから、公募をどんどんかけてくれと、病院企業団のほうには、ということは言ってるんです、いつはら病院にはちゃんと。それを何もしてないなんていう言いぐさおかしいんじゃないですか。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 何かしてるなら、一人や二人の医者見つけられるんじゃないです

か。これおかしいですよ。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 入江議員の人生においては、何か動いたら全て片がつく人生だったのかもしれませんが、私どもが歩んできた人生は……。

○議員（3番 入江 有紀君） 失礼な言い方をしますね、あなたは、市長たるもんが。

○市長（財部 能成君） いやいや、あなたが失礼な言い方をしてる。

○議員（3番 入江 有紀君） あなたじゃないですか。（発言する者あり）

○議長（作元 義文君） ちょっと待ってください。手を挙げて、質問をしましょう。入江さんも。

○市長（財部 能成君） 入江議員がおっしゃられるように、全てが物事が、やって結果が出ればそりゃいいです。しかし、ままならんこともある、しかしままならんことを私は容認してるわけではなく、そのことに対して次の動きもしているんですけども、医者の中の偏在化の問題、これおつきなうねりの中で私どもが病院企業団のほうも形にし切らんということで、今苦慮してるというふうなことで御理解をいただきたいと思います。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 大けがをしても、木曜日にあわせてけがをするって言ってますが、上対馬の人は、木曜日の外来だけあってるんです、今、木曜日の外来だけ。木曜日に合わせてけがをせんといかん。そんなような状態です、上対馬は。それを市長だったらトップに立たれる市長だったら、もうちょっと上対馬のことも考えてあげて、どうにかして自分も動いて努力して、医者を見つけるべきじゃないんですか。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 以前の離島医療圏病院のときと若干違うということ、そして医者確保の問題について、県と病院企業団のほうで前面に出ながらやっていくんだという形で、今の組織が始まったというふうに私は理解をしております。

だからといって、私は何もしないというわけじゃないんですけども、向こうのほうも一生懸命汗をかいていただいているところであります。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 整形が一人、内科が一人の状態です。今上対馬病院はやってるんですが、これではほんとかわいそうでたまらないんです。整形一人に内科が三人です。大けがされたときはどんなにされます。ほんとに私は9月28日の上対馬病院の院内研究会に行きまわりました。そしたらそのときのあれを見て、ほんとに胸が痛くなるような思いがしました。先生がいないから、いろんな研究を先生方とスタッフがして、一生懸命努力してあるんです、それを守るために。市民の命を守るために一生懸命頑張っているあの姿を見て、ああもうこれではだめだな

と思って私は帰ってきましたが、ほんと涙が出る思いがしました、あの努力が。あの婦人科、外科がないからそれをどうにかして自分たちでカバーしていくということを努力してあるみたいで、ほんとびっくりしました。どうにかしてこれは、外科、産婦人科を20の症例しかないですけど、置いてやりたいなというあれで帰って来たんです。だから一般質問させていただいたんです。

それで、全然もう上対馬には、外科、産婦人科の再開の予定は今はもうないんですか。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 私が聞いている範囲におきましては、外科医がそろえばその可能性はあるんだということは、以前から聞いております。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 済いませんがほんと、お願いですから、上対馬病院に外科、産婦人科の再開をお願いしたいと思います。

第2に、いつはら病院跡地委員会のことなんですけど、跡地についてなんですけど、私はもうこれで10カ月になります、きょうで、この問題に入ってから。巖原市民が一生懸命注目してるんです。だから、このことをどうにかして解決したいんです、この議会で。

それで、今まで6月、9月、12月だったら市長からの意見をもらいましたが、これではもうどうしようもならない状態に来てるでしょう、来年もう開設でしょ。それを、そうでしょ、来年開設に向けて、どこの法人をどこから持って来るようにしてるんですか。もうこの前の12月の議会では、言えないと言われてましたけど、もう来年になってからもう言えないことはないと思います。

そして、あなたがチラシに書いてあるのは、読み上げますけど「対馬いつはら病院は、60床程度の一般病院と介護施設などを併設した複合医療などの施設として対馬の医療の一端を担います（経営委託をしようとしている法人は相当数の医師を有しています）」どこの病院ですか。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 向こうの、相手方のほうから、今詰めてる段階だから外には出さんでくれという話で言われておりますので、この場では言えません、現段階では。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） いつまでもこれで10カ月になりますが、だったら法人名を言わないで延ばすんですか。いい加減にばかにせんでください。もう言えるはずでしょうが。来年に控えて。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 新しい統合病院ができて、そしてそれから現いつはら病院の改修等をや

って、そして新たなケアミックスのものをつくり上げていくというふうなことで、今話はしておりますので、どういう何床になるかということとはともかくとしまして、今しばらく待っていただければと思います。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 基準病床の設定を見直すべきだという要望書を県に出しておられますよね、その返事は県から来たんですか。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 確か来てないと思います、それについてはまだ。ただし、先ほど、先ほどではない昨日ですか、話をしましたようにその問題等々について議長と一緒に12月18日に県のほうに行って、そして部長以下担当課長同席のもと、この問題については県としても一生懸命汗をかきますということは、明言をしていただいておりますので、今この基準病床の含めての問題を詰めておるところであります。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 私は、このことの返事を一応県議を通して調べていただいたんですけど、県のほうとしては、これは要望書をいただいただけで、何も検討してないということなんですけど。これは、病床数はふえないで市長が言われるケアミックス型をつくるつくると言ってありますけど、病床数がなかったらつくれないじゃないですか。何でそれをずっとこれ10カ月にわたって言われるんですか。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 先だってから、県議の話が出ましたが、県議に聞かれたそれはいつの話でございますか。

○議員（3番 入江 有紀君） 10日前です。（発言する者あり）県議に私が聞いたのが10日前。（発言する者あり）知りません、それ。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 恐らく以前のお話をそのまま踏襲されてるんじゃないかというふうに思います。先ほど言いましたように、基準病床の離島振興法の問題、それと平成17、8年に出されている厚労省の公立病院が、2病院が統合した際の基準病床への反映の仕方ということについての部分については、まだわかってない段階の話だと、特に後段の分については御存じなかったんじゃないかと思います。最近県のほうも気づかれた問題ですので、それら2点を含め、議長と12月18日に県のほうに出向いて話をさせていただいた結果が、県としても汗をかきますというお話で、その後、事務方と協議をしてる段階であります。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 10日前に聞いたばかりで、私は帰ってから県議にあなたが言われたこと言いますよ。あんまりじゃないですか。これは問題にされてなかったんです。県のほうでは、病床数はどうしようもないじゃないですか。あなたが（発言する者あり）それをいちいち言わんでください。市民がどんなに笑ってますか。（発言する者あり）あなたが言われたことが、前回言われたこともみんなが笑ってるんです、言いましょうか。あのね、どこの法人を持って来るんですかって私聞きましたよね、そしたらあなたは何て言われました、「入江議員の法人じゃないことは確かです」私が医療法人を持っていますか。持ってないならそんな発言ができますか。何ていうこと言うんですか。（笑声）医療機能を持った法人のことを聞いたでしょ、私は。あなたの関係ある法人じゃないことは確かですと、おかしいんじゃないですか、市民の人からじゃんじゃん電話かけて、あれおかしいんじゃないか市長は。あなたそんなふうにして全部人気を落としているんです。そんなさえんことばかり言うてから、男のくせにやめるって言うてみたり、やめて言うてみたり（発言する者あり）はい、わかりました。（発言する者あり）

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 今、医療法人を向こうから持って来ると何回も言っているんですが、ここに対馬の地域新病院基本計画書があるんですが、これは対馬市が平成22年9月15日に対馬市新病院建設基本計画検討委員会開設要綱を作成し、同年11月17日より数回の委員会を開き、平成23年3月に対馬地域新病院基本計画書として完成させたものですが、この計画書の初めに記載してあるように、この委員会は長崎県病院企業団が中心となった建設推進管理会議では、主役というべき市民の声が反映されてないということで、対馬市により市民代表を委員として設置されたものです。設置要綱には、審議内容も提示しております。

第5番目には、現2病院の今後の方向性に関することも明記されています。完成報告書の5ページには、今後の対応としては現対馬いづはら病院は介護施設、または高齢者向けの施設を推進し、新病院との適切な役割分担すると決定しています。つまり、市民の意見の総意です。市長は市民のために市民全体のために仕事をするのではないのでしょうか。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 市民の命を守るために当然市はあるというふうに思っております。

以上です。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） では、対馬市がこれをつくったんですが、新病院建設基本計画検討委員会は、何のためにつくった委員会ですか。対馬市の市民の意見を聞くためにつくった委員会ではなかったのでしょうか。

○議長（作元 義文君） ちょっと待ってください。資料があると、そこに。下にある。暫時休憩

します。

午後2時46分休憩

午後2時50分再開

○議長（作元 義文君） 再開します。市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 申しわけございませんでした。今、資料いただきまして、対馬地域新病院基本計画書というのは、病院企業団のほうが確かにつくられました。その中に、今おっしゃられるように、市民の方も入られてると思います。私自身がこれ主催した委員会でも何でもありませんので、誰が入ってどういう人数が入ってるかとかいうのは、ちょっと詳細はわかりかねますが、ただし、私はこの計画というのは、やはり医療専門職の方々がほとんど占められてこの基本計画というのはつくられてるというふうに私は思います。市民の人たちが、この意見というのがどれだけこの中に反映されてるかっていうところが問題になるんじゃないかなと思います。

そういう中、3病院の形で新しい統合病院をつくった後のいづはら病院のあり方っていうのは抜きにして、これは新病院の方向性が中心となって作り上げられたものだというふうに私は感じておりますので、いづはら病院の跡地利用について、市民の思いというのを形にする必要があるということで、先ほどからチラシ、あのような形での私はチラシの前に場所決定をさせていただきました。その1年前の場所決定の段階から、ケアミックスという言葉が発してると思います。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） じゃ、どこに民意があるんですか、これ。市民の意見を聞いて、これは結成されたんじゃないですか。市民の意見を……。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 市民の意見を聞く聞き方については、病院企業団の手法でございますので、私のほうはわかりかねます。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀。

○議員（3番 入江 有紀君） もういいです。ああいやこういやするから。それで、病床数がなければ市長が幾ら向こうから病院持って来ると言っても、できないんですが、この病床数を機関訴訟でもして勝ち取ることはできないんですか。機関訴訟。わかりません。あのですね、訴訟して県に訴訟起こして（発言する者あり）裁判にして、こんなしてから病床数をふやしてくださいという裁判をするんです。だから、巖原市民のことを考えるなら病床数を勝ち取ってください。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 病床数を勝ち取るために議長とも一緒に行き、向こうもそのことについては汗をかくというふうに議長もその言葉は十分に聞いてあると思います。私どもは、今そのこ

とに基づいて、事務レベルで内部でずっと話を、今進めてるということで御理解をいただきたい
と思います。そしてそれが、もし、そういうことがならないということになった場合、今入江議
員が教えていただきました、機関訴訟ですか、そういうふうな手立てというのをまた教えを請わ
んばいかんのかなと思います。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） もう残す方法はそれしかないと思います。それで、もし残らない
ときには市長がやめると言っておりますから、自分の首もかかりますから、頑張ってください。
時間が来ましたんで。

以上です。

○議長（作元 義文君） これで、入江有紀君の質問は終わりました。

○議長（作元 義文君） 以上で、予定の市政一般質問は全て終わりました。

本日の議事はこれで全て終了いたしました。これで散会いたします。お疲れさまでした。

午後2時54分散会
